

自治体名：成田市

平成 30 年度活用メニュー及び新規提案

(活用メニュー)

- ・ 国家戦略特別区域小規模保育事業

(新規提案) なし

平成 30 年度 活用メニュー数：1 件、認定事業数：1 件

平成 29 年度 活用メニュー数：0 件、認定事業数：0 件

自己評価

● 国家戦略特区の趣旨を踏まえた、国際医療福祉大学医学部が平成 29 年 4 月に開設。2019 年 4 月 1 日時点で、1 期生から 3 期生まで各学年 140 名（うち留学生 20 名）が在籍し、先駆的なカリキュラムのもと、高度で総合的な診療能力と国際性を兼ね備えた医師を目指して勉学に励んでいる。

● 平成 30 年度は、医学部の入学定員 140 名に対し、4,192 名の志願者があり、前年度（3,453 名）と比較しても大きく伸びている。

その他に、成田市と学校法人国際医療福祉大学との間で締結した基本協定に基づき、保健・医療・福祉等に関する分野や生涯学習に関する分野等について、多くの連携事業を行っているところである。

● 保育事業に関して、平成 30 年 12 月に「国家戦略特別区域小規模保育事業」を大阪府とともに全国で初活用。平成 31 年 4 月から 3 歳以上の受入れ募集開始。

【課題】

● 案件数が少ないため、メニュー活用の掘り起こしが必要。

今後の取組方針（活用したいメニューや注力したい分野、検討中の新規提案 等）

今後、「成田国際空港のさらなる機能強化」により、旅客数や貨物量の大幅な増加等が見込まれ、これらを受け入れるまちづくりや施策が求められることとなる。また、令和 2 年春、成田空港近辺に医学部附属病院が開院予定。

自治体名：成田市

・成田国際空港の機能強化や大学・附属病院を核とした医療関連産業の集積等に伴う新たな開発需要へ対応するため、昨年度より開院予定区域周辺の都市基盤整備に向けた基本調査に着手。同調査の進捗をふまえ、規制緩和の手法や範囲について検討していきたい。

・同様に、成田国際空港の近接地において、輸出拠点機能を兼ねた新生成田市場を整備中。関連の規制緩和の新規提案を検討している。

※1 複数ページに渡っても構いません。

※2 必要に応じて参考資料を添付してください。